



# 全国公立学校教頭会研究大会 高知大会



令和6年度 高知大会実行委員長

**大坪 顕彦**

高知市立三里小学校 教頭

**高** 知県は、燦燦と輝く太陽が降り注ぐ温暖で自然豊かな地。美しく青く輝く太平洋に、緑深い四国山地から日本三大清流の一つといわれる四万十川や透き通るブルーが眩しい仁淀川等、いくつもの清流が絶え間なく時を刻むようにゆつくりと流れています。その恩恵として、海・山・川の幸で彩られる新鮮な郷土料理の数々、雄大な自然が織り成す絶景等、魅力あふれる土地です。

さらに、三菱財閥創始者の岩崎弥太郎、国会開設に尽力した板垣退助、幕末から新しい日本を創り上げようと全国を奔走した坂本龍馬等、果てしない夢と高い志をもって近代国家の礎を築いた多くの偉人を輩出しております。その自由で豪快な気風は、おらかな中にも芯の通った県民性を育み、脈々と受け継がれてきました。また、夏は今や全国各地で開催されている「よさこい祭り」発祥地として、熱く盛り上がります。

そんな高知を舞台とした小説やドラマ・映画も数多く制作されています。例えば、NHK大河ドラマ「竜馬がゆく」「功名が辻」「龍馬伝」、連続テレビ小説「らんまん」等、そして来年は、アニメ「アンパンマン」の原作者、漫画家のやなせたかし先生夫婦をモデルにした「あんばん」も放送されます。

その高知に、全国公立学校教頭会研究大会が実に31年ぶりに戻ってきました。令和6年7月31日から8月1日の2日間、「第66回全国公立学校教頭会研究

会高知大会」が開催されます。まるで前述のドラマの舞台となったかのようで、高知の教育に今携わっている者として、大変光栄で名誉あることです。全国統一研究主題第13期「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり」の2年次として、昨年度の石川大会の成果を引継ぎ、サブテーマに「夢と志をもち、協働して未来を創る子どもを育成するチーム学校づくりの推進」を掲げ、参集とオンラインを合わせたハイブリット形式で開催いたします。昨今のグローバル化の伸張は

社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は生活を質的に変化させています。全国的な少子高齢化により、学校の統廃合等が進む中で、学校では、VUCAの時代を生き抜くために、人生を自ら切り拓いていくことができる力を子供達に付けさせなければなりません。そして社会の中で受け身ではなく、主体的に向き合って関わり合い、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮しながらよりよい未来を創り上げていくことができる資質・能力を育成する必要があります。

そのためにも、学校の教職員だけでなく、地域や専門的な立場の方と協働で子供達を育てていく必要があると考えます。これは子供達のみならず、新時代の社会に対応するために我々教職員の学びともなり、学校全体が新たな視点を獲得し、進化していくとともに、学校と地域等が一つのチームとなって、共に子供を育てていくことにもつながります。高知

大会では、この視点をもって、これからの。魅力ある学校づくりに向けて、私達副校長・教頭が学校や地域の中でどのようなリーダーシップをとることができているのか、その可能性について全国の皆様と学び合うことができる大会にしていきたいと考えます。

大会1日目は、記念講演として映画監督の安藤桃子氏に、シンポジウムには、愛媛大学大学院の露口健司教授をコーディネーターとして、国立教育政策研究所の藤原文雄氏、千クリエイティブカンパニー代表の田村千賀氏、高知市教育委員会教育委員の谷智子氏を迎え、様々な視点で、魅力ある学校づくりについて熱い議論を交わしていただく予定です。2日目は、各会場に分かれて分科会を開き、提言者の方から貴重なご実践を発表していただきます。全国からお集まりいただいた皆様と熱い協議が展開されることを期待しております。

本大会を通して、会員の皆様の実践の一助になれますよう、高知大会実行委員会はONETEAMとして全力で取り組んでまいります。全国の皆様と共に学び合える時間を共有することは、何よりの財産となります。参加された全ての皆様、高知大会に参加して良かったと思ってくださいるように、また、明日からの実践につながる取組について、深く考えることができる大会となるよう願っております。